

第31回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

県内の交通状況の紹介

- ・ 神奈川県内の交通状況
- ・ 神奈川県内の交通特性

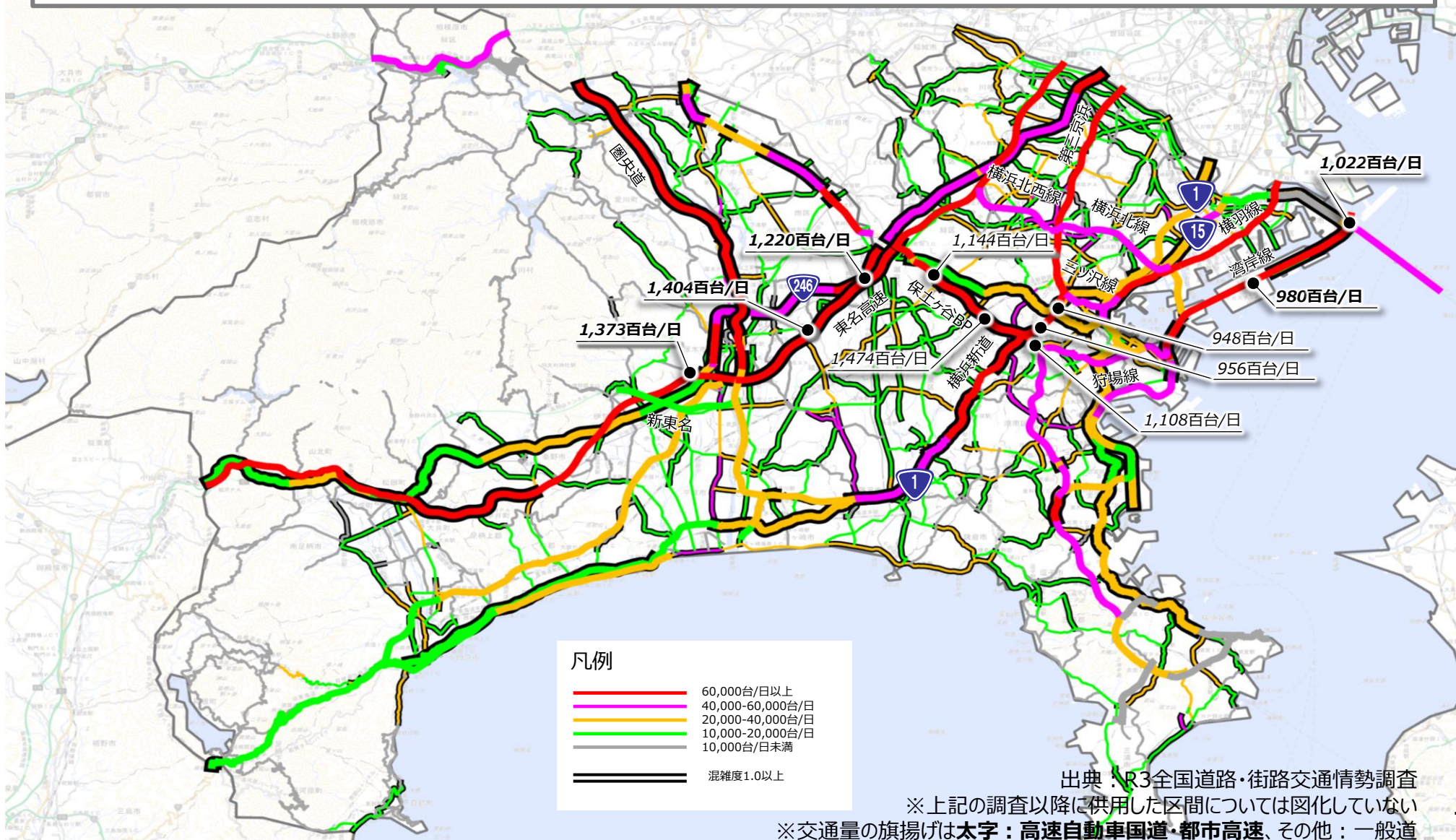
令和7年2月27日(木)

2 県内の交通状況の紹介

2-1 神奈川県内の交通状況

■主要路線の交通量

○東西方向の交通を担う東名高速や国道1号の交通量が多く、混雑度1.0以上の区間が連続。

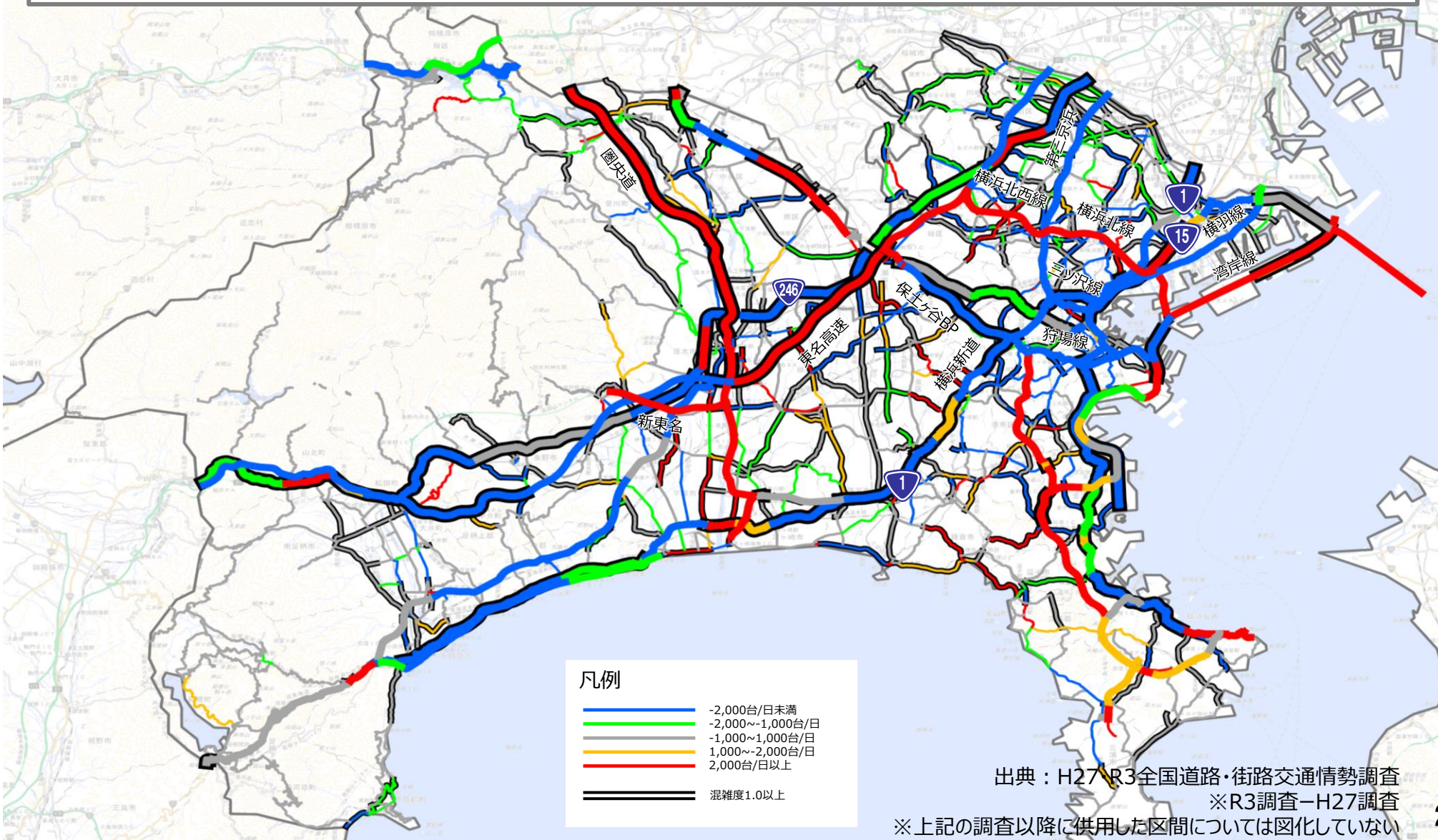


2 県内の交通状況の紹介

2-1 神奈川県内の交通状況

■主要路線の交通量の変化

○混雑・渋滞が発生している東名高速においては、交通量が増加傾向。



2 県内の交通状況の紹介

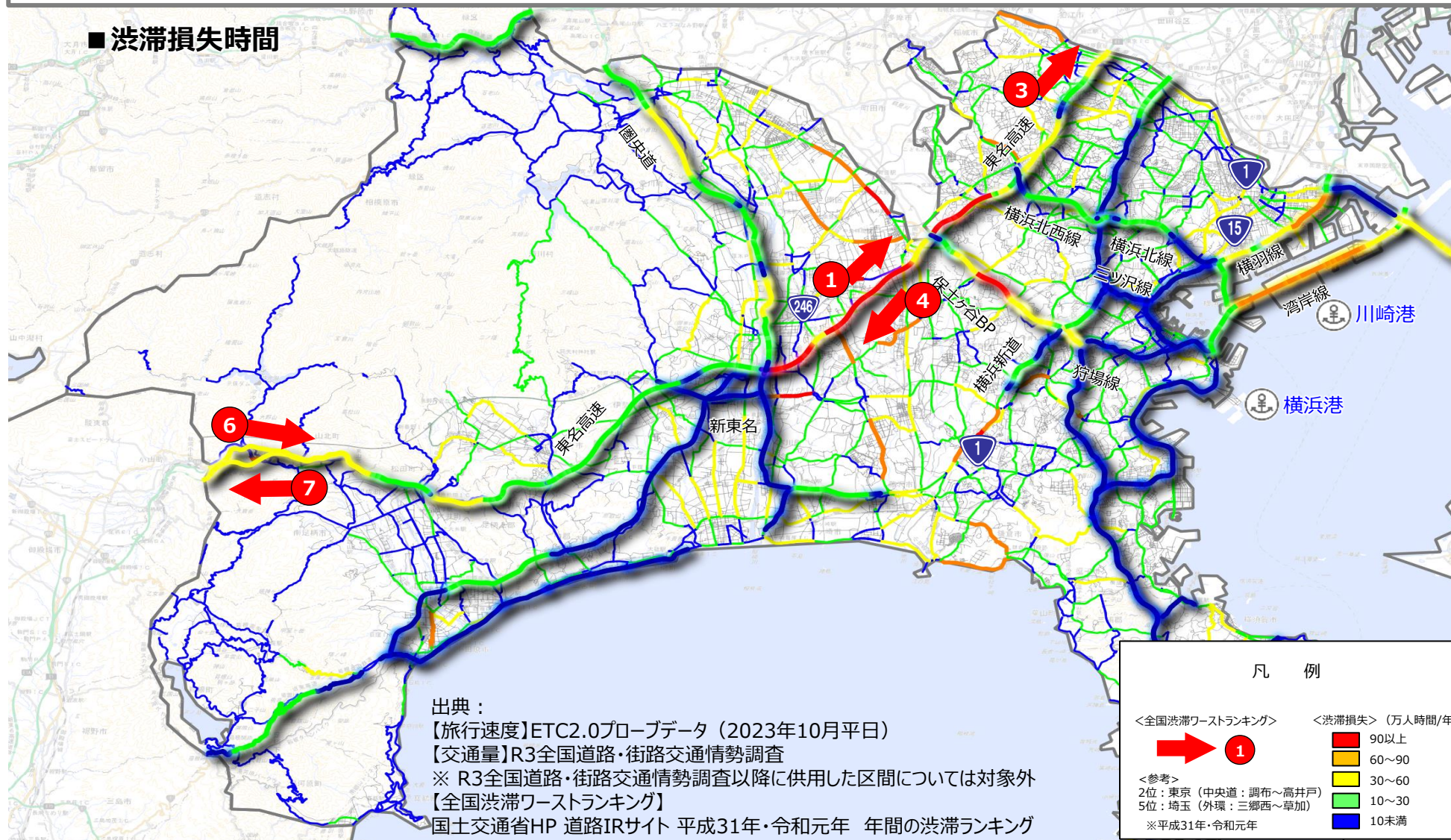
2-1 神奈川県内の交通状況

■ 渋滞状況

○東名高速は渋滞ワースト上位区間が多数存在。

○渋滞損失を見ると、県内の直轄国道では保土ヶ谷バイパスで渋滞損失が大きい状況。

■ 渋滞損失時間



2 県内の交通状況の紹介

2-2 神奈川県内の交通特性

■神奈川県内の市区町村別面積あたり発生・集中交通量(R3)

○県内のトリップの発生・集中交通量は、人口が集中し、港湾エリア(横浜港、川崎港)が隣接している横浜市が最も多く次いで川崎市、3番目は相模原市となっている。

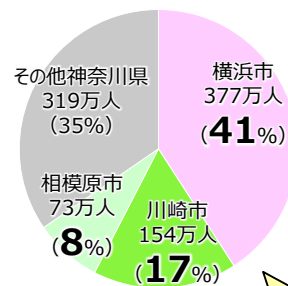
○横浜市・川崎市に発生・集中交通量の上位が集中している。

順位	市区町村名	発生・集中量 (面積あたり)
1	横浜市西区	20,387
2	横浜市都筑区	11,956
3	横浜市南区	11,722
4	川崎市宮前区	11,643
5	横浜市中区	11,491
6	座間市	11,400
7	相模原市中央区	11,380
8	川崎市幸区	10,856
9	川崎市高津区	10,565
10	大和市	10,464
11	横浜市港南区	10,434
12	横浜市青葉区	10,428
13	横浜市港北区	10,421
14	横浜市神奈川区	10,234
15	横浜市瀬谷区	9,622
16	海老名市	9,371
17	横浜市鶴見区	9,160
18	川崎市中原区	9,033
19	横浜市保土ヶ谷区	8,928
20	横浜市緑区	8,758
21	横浜市戸塚区	8,696
22	藤沢市	8,669
23	横浜市金沢区	8,614
24	川崎市川崎区	8,532
25	横浜市旭区	8,401
26	横浜市磯子区	8,374
27	相模原市南区	8,372
28	綾瀬市	8,081
29	横浜市泉区	7,765
30	平塚市	7,409

面積当たり発生・集中交通量では、
上位29位を圏央道より東側の
市区町村が独占

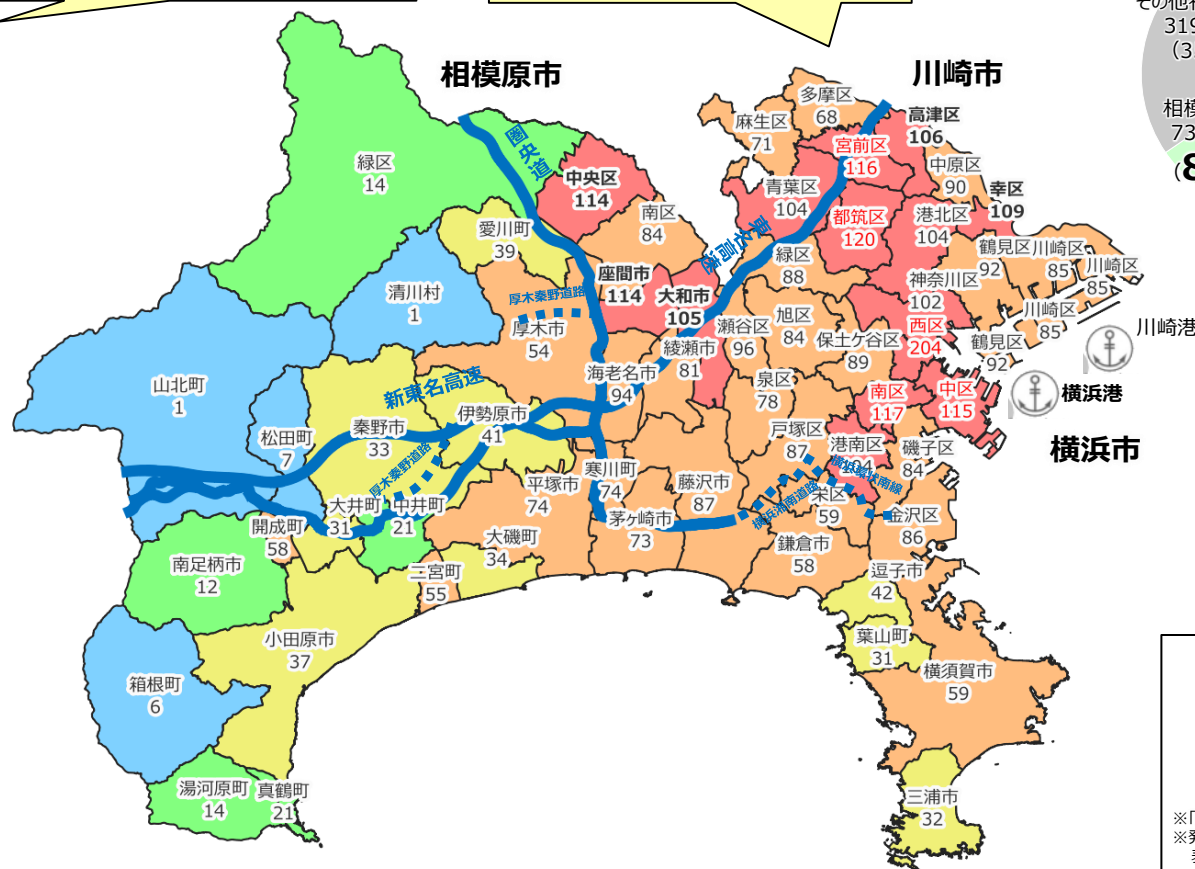
発生・集中交通量は人口が多い
横浜市や川崎市などに上位が集中

＜神奈川県 人口割合＞



人口は政令市である
横浜市、川崎市が
神奈川県全体の約6割

出典：神奈川県人口
統計調査(R5.5)



凡 例			
＜発生・集中交通量＞			
単位：百トリップエンド／日：面積あたり			
100以上	10～30		
50～100	10未満		
30～50			

※「圏央道以東エリア」は圏央道が立地する市町を含むエリア
※発生・集中交通量の上位5位を赤字で、10位を太文字で表記

※上位30位まで 単位：トリップエンド／日：面積あたり

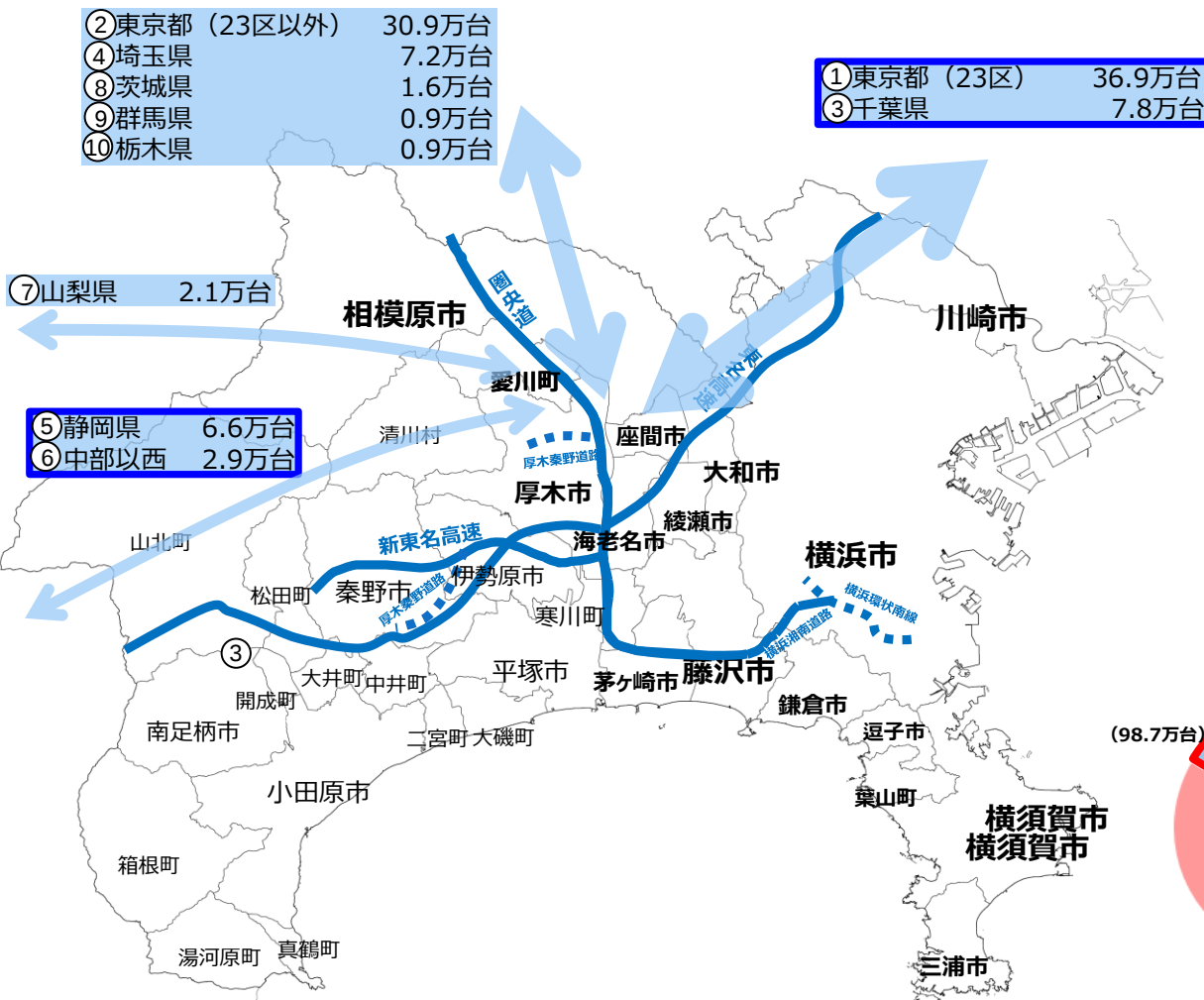
出典：R3道路交通調査 OD表算出

2 県内の交通状況の紹介

2-2 神奈川県内の交通特性

■神奈川県周辺のOD特性(内外交通)

○神奈川県と他の都道府県間の繋がり(内外交通)をみると、東西方向の移動が多い。



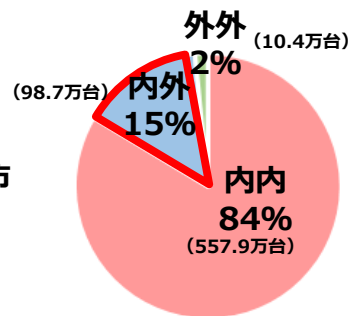
内外交通※1 上位10位

区分	順位	エリア1	エリア2	交通量	割合
内外交通	①	神奈川県	東京都 (23区)	36.9万台	37.4%
	②		東京都 (23区以外)	30.9万台	31.3%
	③		千葉県	7.8万台	7.9%
	④		埼玉県	7.2万台	7.3%
	⑤		静岡県	6.6万台	6.7%
	⑥		中部以西	2.9万台	2.9%
	⑦		山梨県	2.1万台	2.1%
	⑧		茨城県	1.6万台	1.6%
	⑨		群馬県	0.9万台	1.0%
	⑩		栃木県	0.9万台	0.9%

内外交通 総交通量：98.7万台

※1：「内外交通」とは、神奈川県と他のエリアを移動する交通と定義

※2：「中部以西」は、静岡県及び山梨県を除く中部地方、北陸地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方



神奈川県のOD特性

出典：R3全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査より算出

2 県内の交通状況の紹介

2-2 神奈川県内の交通特性

■神奈川県周辺のOD特性

○神奈川県を通過するOD（外外交通）は、東西方向の通過交通が上位を占めている。

①埼玉県	⇔ 中部以西	1.5万台
⑤埼玉県	⇔ 静岡県	0.8万台
⑦東京都（23区以外）	⇔ 静岡県	0.6万台

神奈川県を通過する外外交通※1 上位10位

区分	順位	エリア1	エリア2	交通量	割合
外外交通	①	埼玉県	中部以西 ※2	1.5万台	14.7%
	②	東京都（23区）	中部以西 ※2	1.4万台	13.7%
	③	千葉県	中部以西 ※2	1.2万台	11.6%
	④	東京都（23区）	静岡県	1.1万台	10.6%
	⑤	埼玉県	静岡県	0.8万台	7.5%
	⑥	東北・北海道	中部以西 ※2	0.8万台	7.5%
	⑦	東京都（23区以外）	静岡県	0.6万台	5.6%
	⑧	茨城県	中部以西 ※2	0.6万台	5.4%
	⑨	千葉県	静岡県	0.6万台	5.3%
	⑩	群馬県	中部以西 ※2	0.5万台	4.5%

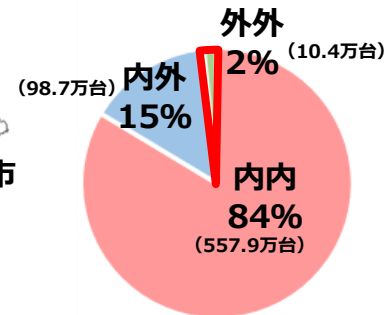
外外交通 総交通量：10.4万台

※1：「外外交通」とは、神奈川県を通過すると想定される以下を対象に集計

・東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、東北地方、北海道

⇔静岡県、愛知県、岐阜県、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方

※2：「中部以西」は、静岡県及び山梨県を除く中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方



神奈川県内のOD特性

出典：R3全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査より算出